

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【生石小学校】

<第1学年：あきのおもちゃをつくろう>

1学年の児童は、生活科「たのしいあきいっぱい」の学習で、校内の植栽の変化に秋を感じたり、家の近くの公園や神社等でどんぐりや松ぼっくりを拾ったり、生活科の時間に垣生山に登って落ち葉や木の実を集めたりと、様々な活動を通して季節の変化を感じることができた。また、その木の実や落ち葉を工夫して使い、どんぐりごまやけん玉など、自然物を使ったおもちゃ作りを楽しんだ。これらの活動を通して、豊かな自然が自分たちの生活を彩り、楽しくしてくれることを感じ、これからも地域の自然を守ろうという気持ちが高まった。



<第3学年：生石わくわくたんけんたい>

3学年の児童は、「名人さんから学ぼう」の学習で、獅子舞、グラウンドゴルフ、花・野菜作り、昔の遊びの中から1つを選び、活動した。獅子舞には地域の獅子舞保存会の方を講師に招き、伝統芸能を学んだ。グラウンドゴルフでは、生石GGクラブの方々から、クラブの持ち方やうまくボールを打つコツなどを学び、試合を楽しんだ。花・野菜作りと昔の遊びには地域の高齢者クラブの方々を講師に招き、畑作りや世話の仕方を教わり、秋植えの野菜や花を植えた。昔の遊びでは、けん玉やこま回しなど古くから伝わる遊びを体験した。また、小刀の扱い方を教わりながら竹とんぼを作って飛ばした。



豊かな経験や知識、技能を有する地域の方々との交流は児童にとって貴重な体験となった。また、知識や技だけでなく、地域の方々の人柄にも触れ、尊敬の気持ちを育むことができた。その後、学んだことを友達と紹介し合う活動を通して、自分たちが住む生石地区を様々な視点から見つめ直し、自慢を見付け、愛着をもつことができた。